

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	*	*	*
	○	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・コロナ禍でも、当商店街は観光客も含め来街者は比較的 多く、にぎわいが感じられる。酒類を伴う夜の飲食店はダ メージが大きいですが、それ以外の業態は比較的悲壮感はない。
	○	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・店頭、外商共に売上は前年を若干上回っている。
	○	スーパー（財務 担当）	単価の動き	・土用の丑の日のウナギは高価でも好調である。
	○	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・7月に入って来客数、売上が堅調に推移している。新型 コロナウイルスの感染再拡大の影響から夜9時以降は悪い ものの、それ以外の時間帯は至って堅調である。
	○	家電量販店（店 員）	販売量の動き	・季節商材は思ったほど伸びていないが、他部門の商品が 売れている。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・コロナ禍のなか警戒意識は薄れていっているようで、客 足が少しずつ戻ってきている。
	○	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症対策の行動規制が掛かってい ないため、夏休み期間中の来客数は2019年の9割程度まで 戻っている。
	○	旅行代理店（営 業担当）	販売量の動き	・来客数及びWe b予約は順調に増加していたが、新型コ ロナウイルス感染症の第7波により取消しが発生してい る。それでも3か月前より販売量は増加している。
	○	競輪競馬（マ ネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響は軽微で、遊 興の気持ちに水を差すまでにはなっていない。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が多少なりと も出てきており、客の動向が不規則になってきている。久 しぶりに入った予約もキャンセルとなるなど、厳しい状況 が続いている。また、電気代等の値上げに加えて仕入商品 価格が上昇傾向にあり、難しい経営状況が続いている。
	□	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・暑さで飲料品の販売量は伸びるはずだが、個人商店では 量販店に価格面で対抗できず、ギフトや家庭用販売量には 結び付かなかった。
	□	スーパー（企画 担当）	単価の動き	・商品の値上げが止まらず、値上げ前の買い回りで売上、 売上数量共に上昇傾向にある。
	□	スーパー（人 事）	来客数の動き	・来店客が減り、商品単価は上昇しているが、販売点数は 横ばいとなっている。
	□	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・この3か月は売上、来客数共に変化はない。新型コロナ ウイルスの新規感染者数急増の影響はみられない。
	□	コンビニ（総 務）	来客数の動き	・梅雨明けが早く、新型コロナウイルス感染症も落ち着い ていたが来客数はまだ回復していない。しかし、商品の値 上げや買上点数増加などにより客単価は大きく上昇してい る。売上は新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻っ ている。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、来客数が少 なくなってきた。新型コロナウイルスの感染状況次第 ではあるが、夏休みに入れば人の動きも出て、足踏み状態 にある景気も良くなり、販売量も増えると思う。
	□	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えた影響で売上は 低迷していたが、最近持ち直し始めている。
	□	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・前年比120%程度で推移していたが、新規感染者数が増え てからは来客数に大きく影響し、売上減少につながってい る。最終的には前年比110%程度になると思われる。
	□	家電量販店（副 店長）	来客数の動き	・前半は季節商材を中心に売上は好調に推移していたが、 中盤以降は新型コロナウイルス新規感染者数が増加したこ とにより来客数が減少している。
□	乗用車販売業 （営業担当）	来客数の動き	・半導体不足などの影響で受注停止や納期が長期化し、厳 しい状態が続いている。	

	□	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・物価上昇や新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が出始めている。
	□	通信会社(営業 部長)	販売量の動き	・販売数は堅調に推移している。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているが、来店客はこちらからの声掛けを避ける様子もない。
	□	設計事務所(所 長)	単価の動き	・建築単価の上昇が止まらないため、建てるのを途中でやめる人や、逆に今から建てることを決断する人もいる。
	▲	商店街(代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の爆発的な増加により、消費者マインドがかなり落ちているように思える。来街者数は大きく落ち込んでいないものの、購買力は下がっている。
	▲	商店街(代表 者)	お客様の様子	・3年ぶりに開催されるイベントが中止又は縮小される可能性が高くなっている。消費者の警戒感に対し、受け入れる側の準備対応が難しい。
	▲	一般小売店[生 花](経営者)	それ以外	・夏休みに向けて飲食店等の開店が増え街にぎわいが戻ってきたところだったが、新型コロナウイルスの感染急拡大でまた人通りがまばらな状態になった。昼間はまだ買物客がいるが、夜の繁華街には人がいないため商品が売れない。
	▲	百貨店(企画担 当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が急拡大し始めた中旬以降、売上は落ちている。しかし、以前と比べたら落ち方は小さい。
	▲	百貨店(営業統 括担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響が大きい。
	▲	スーパー(店 長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増による買い置き需要は増えたが、それ以上に来客数減少による影響が大きい。
	▲	コンビニ(商品 担当)	それ以外	・売上や来客数は増えつつあるが、猛暑に加え電気やガソリン価格の高騰で販管費がそれを上回っている。
	▲	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・物価上昇と新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、乗用車など高額商品の購入は慎重になっている。
	▲	乗用車販売店 (役員)	それ以外	・国内メーカーの生産状況が改善しないため、売上が読めない。生産遅延が頻発して受注に悪影響が出ている。転売目的等の受注も見受けられ、生産状況が回復しても多くのキャンセルが予想される。
	▲	その他小売 [ショッピング センター](総 務部担当部長)	販売量の動き	・近隣でのイベント開催によって売上は堅調に推移しているが、それを除くと前年割れの水準にある。物価上昇や新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を懸念している。
	▲	観光遊園地(職 員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で、外出を控える人が増えている。
	▲	美容室(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の急拡大に、戸惑いながら来店している客は多い。来客数は余り変わっていない。
	▲	美容室(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響が出ている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えている影響で、昼も夜も乗車率が悪い。飲食店も夜は営業していない店が多数あり、医療崩壊の懸念もある。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・暑くなると遍路の仕事はほぼなくなる。新型コロナウイルスの感染再拡大により、夜の街の状況が再び悪くなっている。
	×	通信会社(社 員)	それ以外	・販売量に大きな変化はないが、新型コロナウイルスの感染再拡大で、会社の方針として出張や会食が原則不可となるなど対外的な動きを控えることになった。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	木材木製品製造 業(営業部長)	受注量や販売量 の動き	・受注量は増加傾向にある。円安の影響を受けた原材料価格の第1弾の変更が完了しつつあり、利益は改善傾向にある。
	○	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・再生可能エネルギー事業は現在、盛んに引き合いがあって整備する場合もある。特にバイオマス関係の問合せや引き合いが成立するような状況である。

	○	建設業（経営者）	取引先の様子	・公共事業は順調に発注されており、本業は堅調に推移している。同業他社から悪い話は聞かないし、協力会社や取引先も回復傾向にあると聞く。光熱費やガソリン代、材料の価格高騰や人件費増など課題はあるものの、公共事業の堅調を主因として、景気はやや良くなってきている。
	○	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内向け出荷数量に大きな変化はないが、海外は東南アジアや中国向け輸出入数量が増加してきた。
	○	金融業（副支店長）	取引先の様子	・価格転嫁がしやすい環境下であること、中心商店街の人通り、宿泊施設の予約状況も新型コロナウイルス感染症発生前に近い水準まで回復していること等から景気は良くなっていると考えられる。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数の急増により行動規制が再度発出される事態となれば、景気減速の懸念となる。
	□	化学工業（所長）	それ以外	・原油やナフサの価格の乱高下が激しい。受注量は多いものの、実需が増えているわけではない。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・世界的な半導体不足による調達環境の悪化、原材料価格の高騰、円安の進行、ウクライナ問題など、足元では先行き不透明な状況が深まっている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここに来て民間、公共事業共に受注状況が非常に悪い。
	□	輸送業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことで少し見通しが悪いが、以前ほどではない。
	□	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・事業者向け物流を取り扱っているが、コロナ禍で減少した取扱物量に回復の兆しはみえず、依然として景気の低迷を強く感じる。取扱物量の低迷の要因は、新型コロナウイルスの感染再拡大による行動自粛に加え、物流や原材料、エネルギーのコスト上昇分の転嫁が進み主要貨物の非耐久消費財や半耐久消費財の販売価格が上昇したことであると推察する。
	□	通信業（総務担当）	それ以外	・まん延防止等重点措置の解除後に社外でのイベントなど順次再開されつつあったが、新規感染者数が急増しているため一時的に自粛の動きが出ると想定される。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は回復傾向にあるものの、人手不足により生産や販売量が追いついていない状況が続いている。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・物価上昇により消費の幅が狭くなってきていると感じる。
	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・卸売価格は、果実や花きは比較的堅調だが、取扱量の多い野菜が低迷している。供給バランス以上に荷物が動かない状況である。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・第7波のピークアウトがみえない状況だが、夏休み期間中の公共施設の集客状況は新型コロナウイルス感染症発生前と同じ水準まで戻っている。しかし、マスクを外すサービス等で理美容や飲食業界では日常生活への制限がなくても自粛する人が増加傾向にあり、いまだ景気回復には至らない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・製造業の求人数は増加しつつあるが、サービス業からの派遣依頼は低迷している。総じて景気は横ばいである。
	□	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・周辺企業では中途採用の求人数が増加しつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていない業種に限られる。観光やサービス、飲食とその周辺の業界は不景気が続いており、全体としては横ばいである。
	□	職業安定所（求人開発）	採用者数の動き	・新規求人数や新規求職者数は前年比増加しており、新規求人倍率と有効求人倍率も前年を上回っている。しかし、求職者数が滞留しているようで就職率は下がっている。
	□	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響もあって、企業活動はやや停滞している印象を受ける。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の影響と物価上昇により、民間企業が広告を抑えている。
	×	—	—	—